

【自動船で海の被災状況をリモート点検できます】  
ー 自動運航船による海洋施設等の点検に関する実証実験について ー

舞鶴市と JMU ディフェンスシステムズ株式会社は、このたび共同で、自動運航船による海洋施設等の点検に関する実証実験を実施いたします。

1. 実証実験の目的

海洋施設等の定期点検及び災害時の迅速な点検を、安全かつ正確に実現するために、自動運航船による水中及び水上点検の実現可能性を検証することを目的とします。

2. 実証実験のスケジュール

日時：2021年11月30日（火）10:00～11:30

場所：舞鶴親海公園（舞鶴市千歳 897）

内容：フリーフィンク

自動運航により海洋施設を3次元データ化

陸上にて結果を確認

自動運航船の見学

【荒天時順延】（最長12月2日（木）まで）

・当日9:00までに判断します。

・中止の場合、舞鶴市広報からFAXで連絡します。

3. 実証実験の内容

海洋施設の近傍を自動運航船が航行し、水中部と水上部を3次元データ化して伝送し、陸上で点検結果を確認します。

4. 期待する成果

- ・自動航行で水中部と水上部を同時点検
- ・再現性、実効性のある精度での点検
- ・陸上からの安全かつ正確な点検

5. 目指す将来象

自動運航船により海洋施設等の正常な状態を点検してデータベース化し、災害等が発生した場合に再点検を実施することにより正常時と異なる部分を検出し、被災状況を確認できるようになります。点検結果はインターネットを介してリアルタイムに確認できるため、迅速な被災状況の確認に活用できます。

将来的には、関連法の整備により無人運航が可能になることが期待されるため、オペレータが危険な海域に進出することなく安全・迅速・正確な点検の実現を目指します。

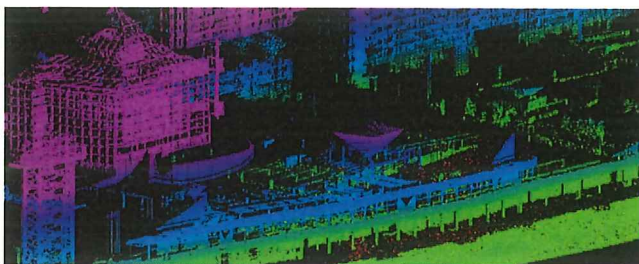
6. 自動運航船諸元

船名	うみかぜ
寸法・喫水・排水量	全長11m×全幅3.2m×深さ1.5m 喫水 約0.7m 排水量 約11t
最大搭載人員	12名
主機	ディーゼル機関（電子制御式）
推進器	ウォータージェット×2基
最大速度	約23kt
操船方式	自動操船, 手動操船, 遠隔手動操船
自動航行機能	航路保持、定点保持、自動着岸
通信	4GLTE, Wi-Fi

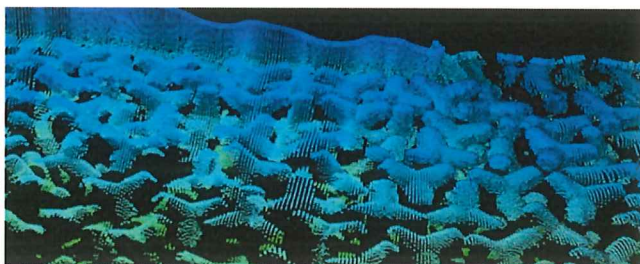


【紹介動画】

【自動運航船】



【水上部の点検イメージ】



【水中部の点検イメージ】

【お問合せ】

JMU ディフェンスシステムズ株式会社  
営業部 松本 電話 62-8718

舞鶴市 産業振興部

産業創造・雇用促進課 後、泉  
水産課 中井、三宅

電話 66-1021  
電話 66-1020